

評価規準（令和2年度）【音楽】5 学年

内容のまとめり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 歌声をひびかせて心をつなげよう ○すてきな一歩 (共) こいのぼり ・校歌	【知①】曲想と歌詞の内容や音色，旋律の反復や変化などとの関わりを理解している。 【知②】ハ長調の楽譜を見て，呼吸や発音の仕方に気を付けながら，各声部の歌声や全体の響き，伴奏をよく聴いて，声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知③】曲想と歌詞の内容や音色，リズム，旋律の反復や変化，強弱，歌詞の内容との関わりについて考え，曲の特徴にふさわしい表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【思・判・表①】曲想と歌詞の内容や音色，リズム，旋律の反復や変化，強弱，歌詞の内容との関わりについて考え，曲の特徴にふさわしい表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態①】曲の特徴にふさわしい表現を工夫して歌う学習に，友達と協働して，主体的に取り組もうとしている。 【態②】曲の特徴を生かして歌う学習に，友達と協働して，主体的に取り組もうとしている。
2. 音の重なりを感じ取ろう ◇小さな約束 ○いつでも あの海は ♪アイネ クライネ ナハト ムジーク 第1楽章 ♪プレリユート° ※「プレリユード」の鑑賞は，授業の進度に応じて取り扱うようにする。	【知①】曲想と音色や音階，調との関わりを理解し，イ短調の響きを感じ取りながら，各声部の音を聴きながら，音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知②】曲想と歌詞の内容や旋律の重なり，音楽の縦と横との関係などとの関わりを理解し，各声部の歌声や全体の響きを聴いて，声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知③】曲想やその変化と，弦楽器の音色や響き，旋律の重なり，音楽の縦と横との関係などとの関わりを理解している。	【思・判・表①】曲想と短調の響き，旋律の重なりなどとの関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら，息の使い方やタンギングなどリコーダーの演奏の仕方を工夫して，どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表②】曲想と歌詞の内容や旋律の重なり，音楽の縦と横との関係との関わりについて考え，呼吸や発音の仕方，強弱など曲の特徴を捉えた表現を工夫して，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③】弦楽器の音色，旋律の重なり，音楽の縦と横との関係を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲や演奏のよさなどを見いだし，曲全体を味わって聴いている。	【態①】曲想と短調の響き，旋律の重なりなどとの関わりに興味・関心をもち，互いの音を聴きながら演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態②】旋律の重なり方の違いに興味・関心をもち，旋律の重なり合う響きを感じ取りながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。

3. いろいろな音色を感じ取ろう ◇リボンの おどり (ラバンバ) ♪祝典序曲 ♪アフリカン シンフォニー※ 「アフリカン シンフォニー」の鑑賞は、授業の進度に応じて取り扱うようにする。 ☆打楽器でリズムアンサンブル	【知①】曲想と音色やリズム、旋律の特徴、音の重なりなどとの関わりを理解し、ト音譜表やヘ音譜表の楽譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知②】楽器の音色や各声部の重なりによる響きと演奏の仕方との関わりを理解し、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知③】曲想やその変化と、楽器の音色や響き、旋律との関わりを理解している。 【知④】打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴を理解し、即興的に音色やリズムを選んだり組み合わせたりして表現する技能を身に付けてつくっている。 【知⑤】リズムのつなげ方や重ね方の特徴が生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解し、反復、呼びかけとこたえ、変化などを用いて、音楽をつくる技能を身に付けてリズムアンサンブルをつくっている。	【思・判・表①】楽器の音色や各声部の重なりや響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、パートの重ね方や楽器の演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表②】オーケストラの様々な楽器の音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表③】打楽器の音色やリズム、音の重なり、反復、呼びかけとこたえ、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識したりリズムアンサンブルをつくるかについて思いや意図をもっている。	【態①】楽器の音色やいろいろな音が重なり合う響きに興味・関心をもち、パートの重ね方を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態②】楽器の音色や響きの変化、旋律の交代に気を付けてオーケストラの演奏を聴く学習に、主体的に取り組もうとしている。 【態③】楽器の音色の組合せやリズムの重ね方に興味・関心をもち、反復や呼びかけとこたえ、変化を生かしてリズムアンサンブルをつくる学習に主体的に取り組もうとしている。
4. 和音の移り変わりをを感じ取ろう ◇○静かにねむれ ○こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore) ♪こげよ マイケル ※「こげよ マイケル」の鑑賞は、授業の進度に応じて取り扱うようにする。	【知①】曲想と旋律、和音の響き、調との関わりを理解し、和音の響きやその移り変わりに気を付けて、表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【知②】思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響きを聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【態①】ハ長調の和音の響きやその移り変わりに興味・関心をもち、それらの美しさを感じ取りながら歌ったり演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。 【態②】和音の響きやその移り変わりに興味・関心をもち、友達と協働して和音の響きの美しさを感じ取りながら合唱する学習に主体的に取り組もうとしている。	【思・判・表①】曲想と音色や音の重なり、和音の響きの違い、呼びかけとこたえとの関わりについて考え、声を合わせて曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態①】ハ長調の和音の響きやその移り変わりに興味・関心をもち、それらの美しさを感じ取りながら歌ったり演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。 【態②】和音の響きやその移り変わりに興味・関心をもち、友達と協働して和音の響きの美しさを感じ取りながら合唱する学習に主体的に取り組もうとしている。

5. 曲想の変化を感じよう ○夢の世界を ◇キリマンジャロ	【知①】呼吸や発音の仕方に気を付けて、各声部の歌声を聴きながら自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知②】曲想と楽器の音色、リズム、旋律、音の重なり、拍、呼びかけとこたえなどとの関わりを理解し、曲想の変化を味わいながら各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。	【思・判・表①】曲想と歌詞の内容や音色、リズム、旋律、強弱、音の重なりなどとの関わりが生み出すよさや面白さを生かして、曲想にふさわしい歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表②】楽器の音色、リズム、旋律、音の重なり、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想の変化にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するについて思いや意図をもっている。	【態①】①歌詞の内容と旋律、リズム、強弱などとの関わりに興味・関心をもち、曲想の変化を感じ取って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【態①】曲の構成や曲想の変化に興味・関心をもち、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。
6. 詩と音楽の関わりを味わおう ♪待ちぼうけ ♪赤とんぼ／この道 (共)冬げしき (共)スキークの歌	【知①】曲想と歌詞の内容や音色、リズム、旋律のまとまりなどとの関わりを理解している。 【知②】声の種類や演奏形態による響きの違いを理解して聴いている。 【知③】曲想と歌詞の内容や旋律の動き、フレーズ、強弱の変化などとの関わりを理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けながら、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。	【思・判・表①】曲想と声の種類や演奏形態による音色や響きの違いなどとの関わりについて考え、歌詞の表す情景や心情との関わりを生かした表現のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表②】旋律の特徴やリズム、フレーズ、歌詞の内容と曲想との関わりが生み出すよさや面白さ、美しさを生かして、発音や強弱など、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態①】言葉の抑揚やリズムと旋律との結び付きに興味・関心をもち、詩と音楽が一体となった日本の歌曲のよさや特徴を味わって聴く学習に、友達と協働して主体的に取り組もうとしている。 【態②】歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫する学習に、友達と協働して主体的に取り組もうとしている。
7. 日本の音楽に親しもう ♪春の海 (共)子もり歌 ♪ソーラン節／かりぼし切り歌 ☆音階の音で旋律づくり	【知①】曲想やその変化と、箏と尺八の音色や旋律、呼びかけとこたえなどとの関わりを理解している。 【知②】曲想と歌詞の内容や音色、旋律などとの関わりについて理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知③】曲想と旋律や拍との関わりを理解している。旋律のつなげ方や重ね方の特徴を理解し、反復を用いて、音楽をつくる技能を身に付けて8小節のまとまりのある音楽をつくっている。	【思・判・表①】箏と尺八の音色や旋律、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表②】二つの旋律の表情や雰囲気の違いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、それぞれの旋律の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③】日本の音階や旋律の特徴が生み出すよさや面白さを生かして、旋律の音の上がり下がりがつなげ方を工夫し、どのように全体	【態①】郷土の音楽に興味・関心をもち、生活と結び付いて歌い継がれてきた歌や音楽を聴く学習に主体的に取り組もうとしている。

		のまとまりを意識した旋律をつくるかについて 思いや意図をもっている。	
8. 思いを表現に生かそう ◇威風堂々 ♪威風堂々 第1番 ○大空がむかえる朝 ○ほたるの光 ・国歌「君が代」	【知①】 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして、音色や響きに気を付けて旋律楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知②】 曲想やその変化と、音色、速度、音の重なりなど音楽の構造との関わりを理解している。 【知③】 曲想と歌詞の内容や旋律、強弱などとの関わりを理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。	【思・判・表①】 曲想と音色や速度、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表②】 曲想と歌詞の内容や旋律、強弱、音の重なり、フレーズなどとの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態①】 曲想の変化や和音の響きの美しさを味わいながら、音楽の盛り上がりが伝わるように、曲想にふさわしい表現を工夫しながら合奏する学習に主体的に取り組んでいる。
「みんなでたのしく」			